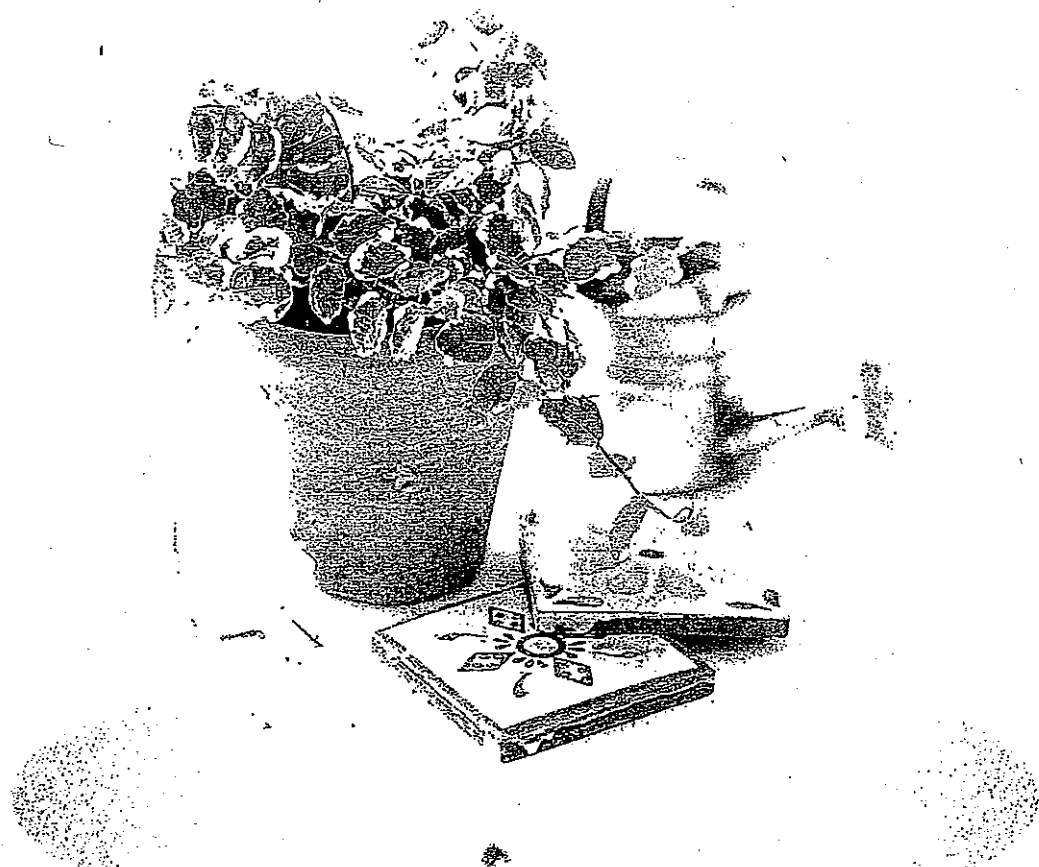


# 痴呆性高齢者グループホーム 評価調査員研修テキスト

～外部評価に向けて～

2002年度版

町ぐるみで  
良質なグループホームを！



## はじめに

地域でも、施設・病院でも「痴呆の人が本当に増えてきた…」という声をよく耳にするようになりました。

「痴呆でも安心して自分らしく暮らしていくことができること」は、多くの人々の願いであり、当事者にとっては待ったなしの切実な課題です。

それを単なる理想ではなく、現実のものにすることをめざして登場したのが、痴呆性高齢者グループホームです。先駆的取りくみの貴重な成果を礎に、現在では介護保険のサービスのひとつとして位置づけられ、全国に急速に普及し始めています。グループホームは、地域全体の痴呆ケアや支えあいのあり方を大きく刷新する可能性を秘めた取りくみです。良質なグループホームが全国の町のあちこちに広がっていくことができれば、痴呆の人本人や家族はもとより、地域の関係する人々にどれほどの安心と新しい活力を生み出すことができるでしょうか？

今後、グループホームの数が増えればいいのではなく、一つひとつのグループホームのサービスの質こそが大きく問われています。

国内での最初のグループホームのサービス評価事業は、介護保険スタート前夜の1999年の暮れに、痴呆ケアを向上させていくことをめざしたグループホーム事業者や福祉・保健・医療関係者、家族の会の人々、行政関係者、研究者等の協働でスタートしました。これまで3年間の試行の中で、様々な成果と課題が明らかになりましたが、その中で特に外部評価の評価調査員のあり方と質が重要課題として提起されてきました。

「評価をこなす調査員」ではなく、グループホームの本来の目的を理解し、良質なグループホームづくりのための大切な「目」「声」「応援団」としての調査員が、これから全国で数多く生まれ、各地で活動を展開していくことへの期待が高まっています。

このテキストは、全国でいよいよ始まる外部評価の一環として、より良質な評価システムが普及していくための第一段階として作成されたものです。評価調査員として活動される方が研修会や自己学習の機会に手にしていただき、グループホームとサービス評価のあり方を知り、また考えを深めていただくための素材を盛り込みました。サービス評価も、そしてこのテキストも見直しを重ねながらより精度の高いものに改善し続けていきます。

ぜひ、テキストを活用していただきご指摘やご意見をおよせいただきたいと思います。皆様方とのこれら作業を通してグループホーム、そして痴呆ケアの発展の一助となることを願います。

2002年9月

# コースガイド

## <研修目的>

- ① グループホームの質の確保・向上をめざした外部評価の調査を遂行するための基本的視点と知識、調査の具体的方法および手続きを学びます。
- ② 研修参加者同志の対話を通し、グループホームのあり方を問いつづける姿勢を養い、サービス評価を発展させていくネットワークを作ります。

## [オリエンテーション]

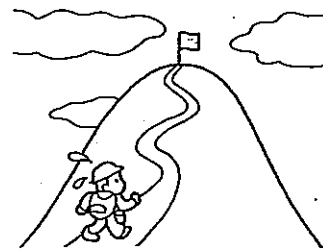
まず研修の目的と流れを知ろう  
研修スタート

# Let's Go!

## 1日目

### [グループホームの基礎学習編]

- ① 痴呆性高齢者とグループホームの基礎的理解を深めよう
- ② グループホームの現状は？直面している課題とは？
- ③ 不安なこと・疑問なことを出し合おう～討論会



さあがんばるぞ～!

## 2日目

### [サービス評価の全体像と 内容・方法編]

- ①サービスの質ってなに？
- ②評価のわく組や流れは？
- ③サービスの質をみるための資料ってなんなんだろう
- ④どんなふうに調査するの

明日も  
がんばろう！



## 3日目

### いざ！評価調査の実習に出発……

本番そっくりに調査に挑戦！  
実習先のグループホーム関係者と  
対話しながら調査の流れとポイントをつかんでこよう！

本番そっくりに  
調査に挑戦！  
気負わずにネ。



## 4日目

### [研修のまとめと自己点検]

- ①実習を振り返り、学びを共有しよう
- ②疑問徹底解消。サービス評価まるごと質問・討論会
- ③今後のスケジュール、手続きをしっかりと
- ④自己点検レポートの作成

無事ゴールイン！  
お疲れさまでした。



# 痴呆性高齢者グループホームのサービス評価

## 外部評価調査員研修カリキュラム

### 【第1日目】

#### \*午前部

オリエンテーション(研修の目的と流れ)		
I. グループホームの 基礎学習編	<b>単元1.</b> 痴呆性高齢者および 痴呆介護に係わる理解	<b>1</b> 痴呆の人の特徴の理解 .....8 (1) 痴呆とは (2) 痴呆の人に現れる症状 (3) 痴呆の人のたどる障害の経過 (4) 痴呆の一次要因と増悪要因 (5) 痴呆の人の特徴 <input type="checkbox"/> 演習1「あなたがもし痴呆だったら」

#### \*午後部

	<b>単元2.</b> グループホームの 基本的理解	<b>1</b> ビデオ上映「グループホームで創る生活」・・・12 <b>2</b> グループホームの誕生 .....13 (1) グループホームがなぜ登場したのか (2) 痴呆ケアの成熟の歴史 ~グループホームの位置づけの確認~ <b>3</b> グループホームの特徴と役割 ~期待される成果~ .....15 (1) グループホームの特徴 (2) グループホームの役割 ~期待される成果~ (3) 痴呆の全体的経過における役割 ~痴呆でもその人らしく最期まで~ <b>4</b> グループホームの歴史と制度 .....18 (1) グループホームの推移 (2) グループホームの施策等の流れ (3) グループホームに関する施策の現況 (設置・運営基準等) <input type="checkbox"/> 演習2「あなたが入りたいグループホームとは」 <b>5</b> グループホームのあるべき像とは .....26 (1) グループホームの目標
	<b>単元3.</b> グループホームの現状	<b>1</b> 統計に見るグループホームの現状 .....27 <b>2</b> いろいろなグループホームをみてみよう! .....32 (1) さまざまな生活空間 (2) グループホームでの暮らしぶり紹介
	<b>単元4.</b> グループホームが 直面している課題	<b>1</b> グループホームの視点からの課題点 .....36 (1) ロケーションの課題 (2) 建築・環境づくりの課題 (3) 人員体制の課題 (4) 職員の力量向上、ストレス対策の課題 (5) 入退居のあり方の課題 (6) 家族との関係 (7) 他の事業者との関係 (8) 地域との関係

		<p>(9) 経営上の課題</p> <p>2 家族の視点から見た課題点 ..... 38</p> <p>(1) 入居にあたっての課題</p> <p>(2) 利用してからの課題</p> <p>(3) 身よりのない入居者からの課題</p> <p>3 新聞記事から～グループホーム質の格差の増大～ .. 39</p> <p>□ 演習3 ..... 41</p> <p>「グループホームについての素朴な質問・討論会」</p>
--	--	--

## 【第2日目】

### \* 午前の部

Ⅱ. グループホームの サービス評価編	<p>单元5. サービス評価の 必要性と目的</p>	<p>1 ビデオ上映 ..... 44</p> <p>「始めよう！育もう！サービス評価」</p> <p>2 サービス評価の目的 ..... 44</p> <p>～関係者のねらいを一つに～</p> <p>(1) 外部評価調査の目的</p> <p>(2) 外部評価調査に対する基本姿勢</p> <p>3 痴呆性高齢者グループホーム サービス評価の位置づけ ..... 45</p> <p>(1) 都道府県の指導監査、市町村の立ち入り調査と サービス評価の相違点</p> <p>(2) 福祉サービスの第三者評価(社会援護局)と グループホーム外部評価の相違点</p>
	<p>单元6. グループホームの サービスの質ってなに？</p>	<p>□ 演習4</p> <p>「そもそもサービスの質ってなんだろう？」 ..... 47</p> <p>～サービスの質のキーワードを確認しよう～</p> <p>1 グループホームの利用者の権利・倫理綱領 ..... 48</p> <p>2 「グループホームの質とは何か」 を追求していこう！ ..... 50</p> <p>～何を評価するのか？～</p> <p>3 調査結果をフルに活かそう ..... 52</p> <p>～評価は継続してこそ意味がある。 次回をめざして改善努力を！～</p>

### \* 午後の部

Ⅲ. サービス評価の 具体的ガイド編	<p>单元7. 外部評価の流れと手引き</p>	<p>1 外部評価の全体像と全体的な流れ ..... 54</p> <p>～サービス評価のチラシから確認しよう～</p> <p>2 評価の進め方 ..... 54</p> <p>3 グループホームの質をどう評価するのか ..... 55</p> <p>(1) 誰が評価するのか</p> <p>～多角的視点の必要性和役割～</p> <p>(2) どのように評価するのか</p> <p>～調査の具体的手法～</p>
-----------------------	-----------------------------	---

		<b>4</b> こんな点に配慮しよう……………58 ～調査をスムーズに実施するために～ (1)グループホームからの意見 (2)こんな点に配慮しよう！ ～グループホーム長の意見を受けて～ <b>5</b> 訪問調査当日の流れ……………60
単元8. 評価項目の内容と そのガイド		<b>1</b> 評価項目ガイド集の見方とポイント……………61 <b>2</b> 評価項目ガイド集の重点項目～判断事例紹介～…61
単元9. グループホームの 書類の見方、考え方		<b>1</b> グループホームからの事前提出書類……………62 (1)自己評価票 (2)情報提供項目 (3)パンフレット (4)運営規程 (5)入居契約書、重要事項説明書 (6)介護計画書 (7)業務日誌等 (8)その他書類
単元10. 調査のためのシート類の 記入方法と作業手順		<b>1</b> シート類の記入方法……………64 (1)調査ポイント整理シート ～こんな点を見てこよう、きいてこよう～ (2)調査項目一覧票 (3)調査報告書 (4)評価報告概要表 <b>2</b> 具体的な作業手順を確認しておこう……………65

### 【第3日目】

IV. 実習編	いざ！評価調査の実習へ
---------	-------------

### 【第4日目】\*午前の部

	実習チェックシート1	<b>1</b> 行ってみて良かったこと・手ごたえ……………68 ～感じたことを率直に～ <b>2</b> 行ってみて疑問点・困難点～多めに語ろう～……………68 ①ガイダンスの場面 ②管理者または職員へヒアリングの場面 ③調査を終えて話し合いの場面
--	------------	--

### \*午後の部

	実習チェックシート2	<b>4</b> 調査項目について <b>3</b> 評価調査員の実務手続……………70 (1)評価調査員の立場について (2)調査に関する費用について (3)評価調査の傷害保険等について
研修を受けてみて		●レポート作成